

2016年11月19日藤井克徳氏講演会アンケート

・JR 半額でないのは本当におかしいと思う。何とか運動で「他の者（障害者）との平等」を実現したい。

○裁判を起こす○協力的なメディアに報じてもらう。○身体・知的障害団体に行動を起こしてもらう。○JR 以外の鉄道から半額をすすめる（これは「JR が半額ではない」と言われるが…）○全国で同じ日に精神障害者や関係者が JR に乗って訴える。○毎日「精神障害者も半額にして下さい」と当事者が JR 職員に訴える。

以上のような事を今日の講演中に考えました。これからも運動していきたいです。

（男性 30代 家族・支援者）

・人工知能×哲学では、優生思想を否定できない……。人間の生の感覚が一番大事だと思いました。地域移行について考えさせられました。（果たして、そこは地域か？病院の方がまし、となってはいけない）

（男性 40代 当事者）

・自分の中で、わからないことがたくさんあることに気づかされた。日本の中で、心清く、思いやりをもった人が、いることに気づいて励まされる。自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払っていきたい。

（男性 30代 当事者）

・ビデオをみたり、ゆっくり話を聞くことができてよかった。（男性 40代 当事者）

・障害者の権利に関する条約第 17 条にある、「その心身がそのまゝの状態尊重される権利を有する」という部分でムリにあわせなくてよいというお話を聞いて、その通りだなと思いました。しかし、ムリにでもあわせていかないと生活しづらかったりとなかなか、そのままというわけにはいかない部分の方が多いのかなと思いました。ありのままの自分で誰もがすごせる社会になればいいなとおもいます。（女性 20代 支援者）

・手話通訳をしている方はすごいと思いました。講演会の内容はすごく難しかったと思いますが、最後まで聞けたと思います。（男性 30代 当事者）

・元気の出る良い会でした。今後で一緒に学びながら運動を進めましょう。学びは活動の源泉です。（男性 60代以上 支援者）

・支援者として、こちらの都合に合わせた接し方をしていないか、どう、関わるのが大切なのか、日々考えていたところでした。今日のお話をお聞きすることができとても良かったです。ありがとうございました。（女性 40代 支援者）

・お疲れ様でした。とても学びの多い時間を過ごすことができました。藤井さんのお話は心にしみます。ありがとうございました。（男性 60代以上 支援者）

・今まで、私は、全くちがう仕事をしてきました。効率良く、たくさん仕事をこなし、要領良く、制度に人（自分を含め、周りの人間）を合わせるようなことをしていました。今日の先生のお話は、今までの自分を振り返らせる力を感じました。ありがとうございます。スタッフの皆様、お疲れ様でした！！（男性 60代以上 支援者）

・日本は障がい者に対しておけているなと思いました。困ったら集まる、集まったら力が

湧くという言葉が印象的でした。(女性 50代 当事者)

・人の偏見の心についての意識の変化をどの様にしたら、相手の立場で変える事ができるのかの話しが有れば良かった。(男性 50代 当事者)

・津久井やまゆり園の事件は最初のNHKの報道の仕方から、犯人の防犯カメラの映像から入るというものだった。最初、私には何をニュースにしているのかわからなかった。誤解をおそれずに言うなら、映画の一場面を流しているのかと思った。ああいう映像がいきなり、無神経に流されること、その後の、被害にあった方がほとんど、メディアに報道されないということの違和感。障がい者への差別が根底にあるということも大きいと思うが、この日本のメディアや制度を作る側の鈍感さをずっと感じて来ました。

そういうこともあったのですが今日の講演会で、事件の問題の深刻さを改めて感じました。大きな学びとなりました。藤井さん、関係者の方々、ありがとうございます。

(女性 50代 支援者)

・大変有意義でした。今日、語られた事を、どのように力を結集していいかわかりません。行動はどのように！参加しなかった他の人に伝えることは良くわかりました。

藤井先生の講演会は心打つものが沢山でした。

パネル、手話、語られた言葉が同時にパソコンに入力され、パネルに表れて、とても感動しました。いたれり尽くせりの講演会でした。ありがとうございます。お疲れ様でした。

(女性 60代以上 家族)

・障害者権利条約が自分にとってどういう意味があるか知りたかったです。

(男性 40代 当事者)

・やまゆり園の事件、障害者権利条約の話を通じて、今、日本で何がおこっているのかがわかりやすくきけた。権利条約についてはとてもわかりやすくよかった。

(女性 30代 支援者)

・以前テレビで藤井さんがドイツを訪ねていたビデオをみました。戦争中、ユダヤ人のガスにより殺害をする前に精神障害者が先にあったという事も知りました。実験に使われ、しかも医者もそれに協力した事はどうして・・・とすごくショックでした。そんな中で一層基本的な人権がずっと強くなって今も活躍されていらっしゃるのを今日は知る事が出来ました。家族としては大変力づけられありがとうございます。(女性 60代以上 家族)

・権利条約の文面は難しいですが、短い17条を教えて頂いたので、少し身近に感じる事ができました。(女性 50代 )

・恥ずかしながら権利条約というものを深く深くとらえてこなかったことに反省させられるくらい権利条約は支援者にとっても大変大切な考えであると感じました。また合理的配慮という考えは高齢者、障がい者になりゆる誰しもが暮らしやすい社会をめざすことができる考えだと思いました。自分がその立場になった時に考えるのではなく、なった時にどうかという想像力を働かせ、これからも支援にたずさわっていかれたらと思いました。貴重な講演ありがとうございます。(女性・20代 支援者)

先生のお話をお聴きするのは 2 回目です。障害をおもちになりながらご活躍されていることに感動し、頭が下がります。お話しはわかりやすく、障害者に対しての（在り方）歴史の上で細やかな力でも手、足、意見を出していかないと・・・を強く思います。困ったら、悩んだら集まって・・・つながって元気を出して・・・と家族会としても強く思い日々生活したいと思います。（女性 60 代以上 家族）

・「花たむけ手をあわせし顔遠く、かくも脆いか積み上げしもの」冒頭藤井さんが紹介した短歌が未だ障害者の人権が社会の中で認められていない現状を訴えたことは痛烈に印象インパクトが強く感じられた。相模原市の事件を引用し、特異な事件だが、それだけでなく、日本社会にひそんでいる問題、優性思想、格差社会の地続きがあるのではないかの鋭い指摘は強くひびくものがあった。ドイツヒトラーの T4 作戦のビデオを紹介したことも藤井さんの熱い気持ちを感じた。きざしの段階で食い止める必要性を訴えたのは心に残った。

（男性 60 代以上 支援者）

・藤井さんや、座談会で登壇したパネラーの皆さんの発言を聞き、やはり運動、行動に移す大切さを改めて感じました。事務所の中だけでの意見交換で終わらず、自立支援協議会などで声を上げて行き、つながりを作っていくことで、少しずつ制度になっていくのではと思いました。まさに“制度は後からついてくる”ということを実感していく必要があると思います。（男性 30 代 支援者）

・藤井さんのお話がお聴きできたり、当事者のご意見をお聴きできて良かったです。藤井さんの具体的なお話が良かったです。（女性 60 代以上 支援者）

・良かったです。藤井先生の話がよく分かりました。（女性 40 代 支援者）

・最近支援者としても財政抑制は感じています。障害者制度についても現在ある制度に関しても運用がきびしくなっているように感じています。介護保険とのからみもあるので来年の法改正は注目しています。「逆風の動き」をくいとめる声をあげていくことは大切ですね。

（女性 50 代 支援者）

・日本の障がい者の方への支援は、進んでいると思っていましたが、優性思想といった考えは根強く今も残っているのだと思いました。それに気づかないふりをしてしていると“やまゆり園”のような事件がまた起こってしまうと思います。この先もずっとパンドラの箱のままにするのではなく、しっかりと今の障がい者の問題について一人一人が向き合い考えていかなければならないと感じました。

ドイツナチスでのユダヤ人の殺害については知っていましたが、障がい者もたくさんの方が殺害されていた事は初めて知ることも多く勉強になりました。国の為だと、個人が命の価値を決めて、失くしてしまうという、間違った考えで 20 万人の人々が殺害されていた事は、おそろしい事ですが、殺害に関わった人々は一人や二人ではなく、20 万人の人を殺害するのに何人、何百人、何千人の人が関わってきたのかと考えると、人や社会に対して絶望的な気持ちになりました。

“共に生きる社会の実現のために” 第一歩でもある現状を知る事が少しでもできて良か

ったと思います。ありがとうございました。(女性 30代 支援者)

・権利条約が沢山あり、善し悪しは別にして驚いた。日本は批准されたものがいくつあるのでしょうか。新しい福祉法とどの位効果があるか疑問だ。でも障がい者、及び家族には喜ばしい。政府も待機児童の問題とパラリンピック、障害者対策、皆大変だが、(私は統合失調症) 障害者の地域創生のお手伝いさせて頂けるようにしたいと思う。難しい制度をやさしく教えて下さりありがとうございました。(男性 50代 当事者)

・藤井さんの具体的なお話を聞いて良かったです。(女性 30代 支援者)

・心にしみるお話ありがとうございました。一人一人が本当に尊重され、地域で安心して暮らせる社会が実現するよう皆で手をつなぎたいと思います。今の日本の情勢は、逆行しているようですが、今のうちに力を合わせ平和で住みよい社会を目指したいものですね。今回の企画ありがとうございました。(女性 60代以上 支援者)

・障がい者と接すること、これが最大の啓発。最大のよろこび。支援者として毎日学びを感じています。その気持ちを忘れないよう日々すごしていきたいと感じた。(女性 50代 支援者)

・今の日本社会は問題を個人の責任にすり変えて行っているように感じます。何か事が起きれば、慢性思想のように弱者に悪い政策が向かっていくと思います。障害者権利条約も大切なことですが、国内にもまだまだ改めていかななくてはいけない事が多くあります。私たちが声をだして改めるべきは改める方向へと社会を向けて行かなくてはと強く思いました。「困ったら集まる、悩んだらつながる」集まるからそれが「力」になるという言葉に勇気をもらいました。明日から、また何とか生きてゆけそうです。ありがとう。(女性 50代 当事者)

・丁寧なお話しでよくわかりました。文章を見て理解するのと直接話を聞くのとはやはり違います。もっと多くの人に聞いてもらいたかったです。スタッフの皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。(女性 60代以上)

・今まで講演会に参加し、話の中で、法律について触れることはあってもなかなか詳しい内容まで考えたことがありませんでした。今日、藤井さんの講演をお聞きし、私自身、当事者としてなにができるのか、真剣に考えなければと考えさせられました。今回の講演会に参加するにあたり、少し、家や通所施設で下調べをしましたが、実際に講演を聞いてみると、難しく、分らないところもありました。しかし、分りやすく説明していただき勉強になりました。日々、自分に「何を考え、どう行動するのか」を考えて生活を送ろうと思います。(男性 20代 当事者)

・権利条約があることは知っていたが、その基本となる考え方などもっと知る必要を感じた。ありがとうございました。(女性 60代以上 家族)